

ゆりあげぎょこうかいがん
【21】 閑上漁港海岸

1.概要

閑上漁港海岸は仙台市若林区、名取川左岸河口の北側に位置する海岸である。

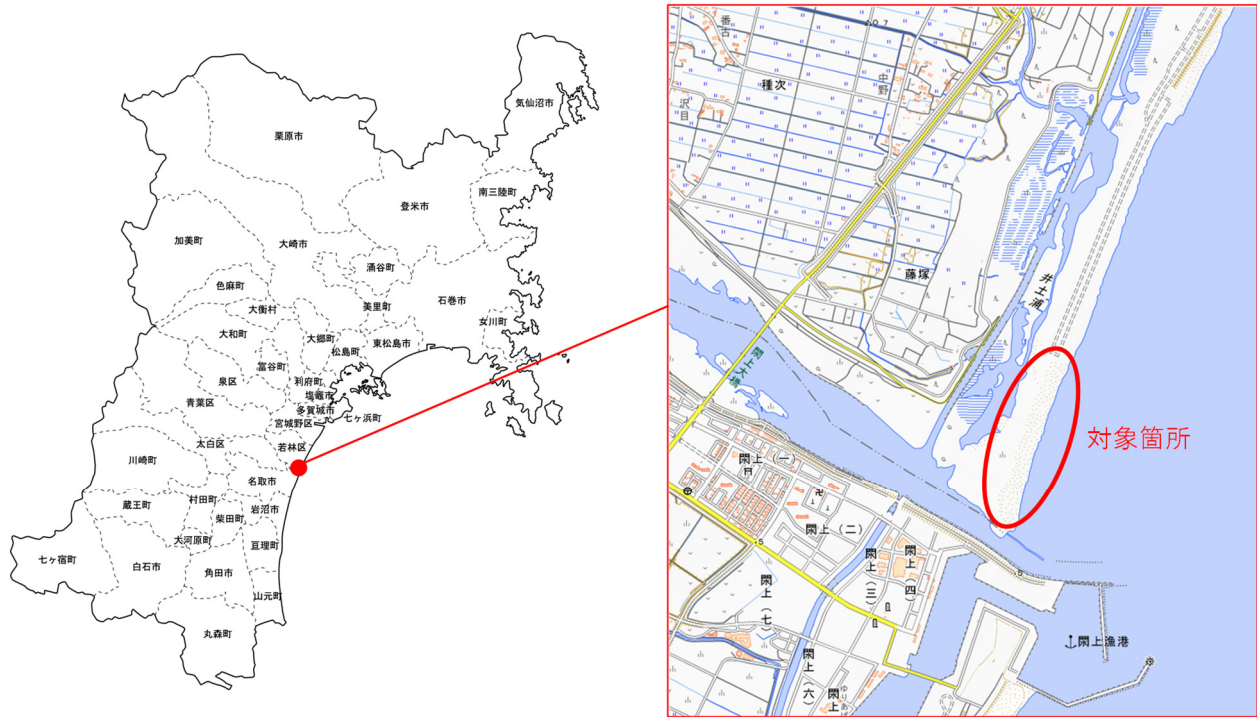


図 4-21-1 位置図【閑上漁港海岸】

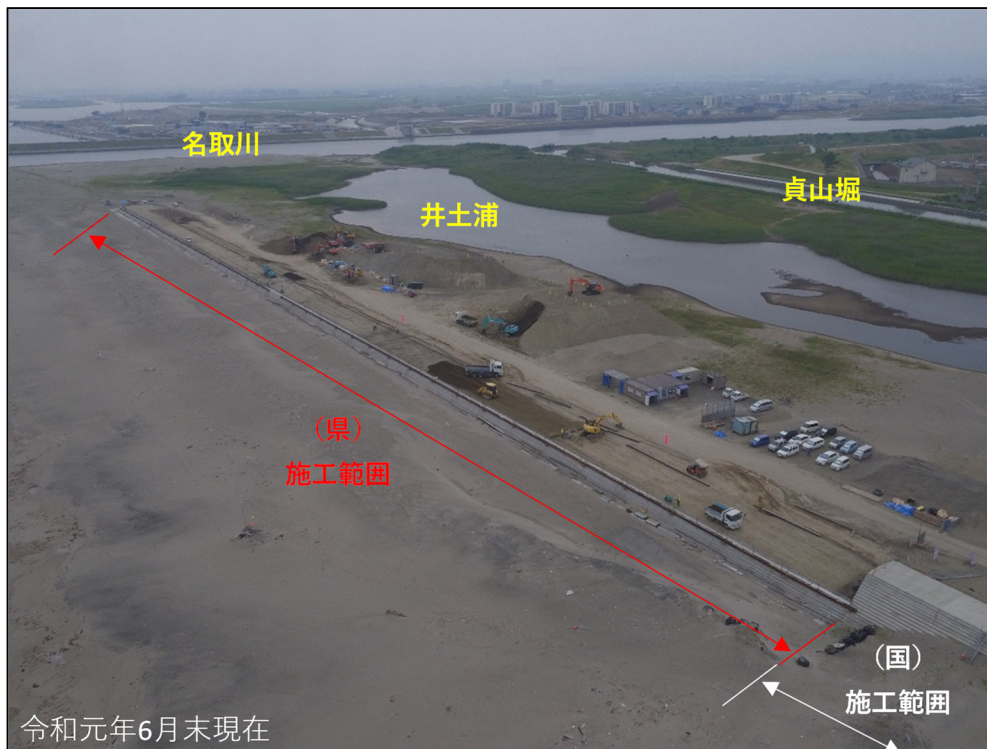


写真 4-21-1 施工範囲【閑上漁港海岸】

2.震災後の状況

(1) 被災前後の状況

震災による津波の影響により、海岸林、藤塚地区の漁港施設及び集落が壊滅的な被害を受けた。また地震による地盤沈下等による影響により、環境省の「生物多様性の観点から重要度の高い湿地」に選定されている井戸浦を形成していた海岸が消失し、一時的に海と繋がる状況となった。



写真 4-21-2 被災状況【閑上漁港海岸】

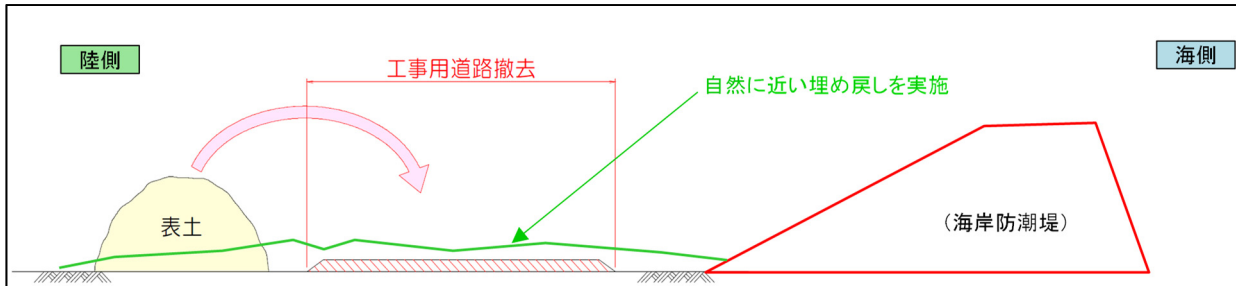


図 4-21-5 工事後の埋戻しの実施概要 【閑上漁港海岸】



写真 4-21-3 工事後の埋戻し状況 【閑上漁港海岸】

- 2) 鳥類の営巣場所となる砂州の造成（実施時期：計画段階、工事中）
防潮堤の延長線上に、コアジサシの営巣場所となる砂州の造成を行った。

【環境アドバイザーからの意見】

意見①	・ 防潮堤終点の延長線上に、コアジサシの営巣が可能となる T.P.3.0m 以上の高い砂州（丘）を作ってほしい。
-----	--

【実施方法及び留意点】

- ・ コアジサシの営巣場所を創出するため、防潮堤終点の延長線上に現地にある砂を利用して砂州の造成を行った。（意見①への対応）

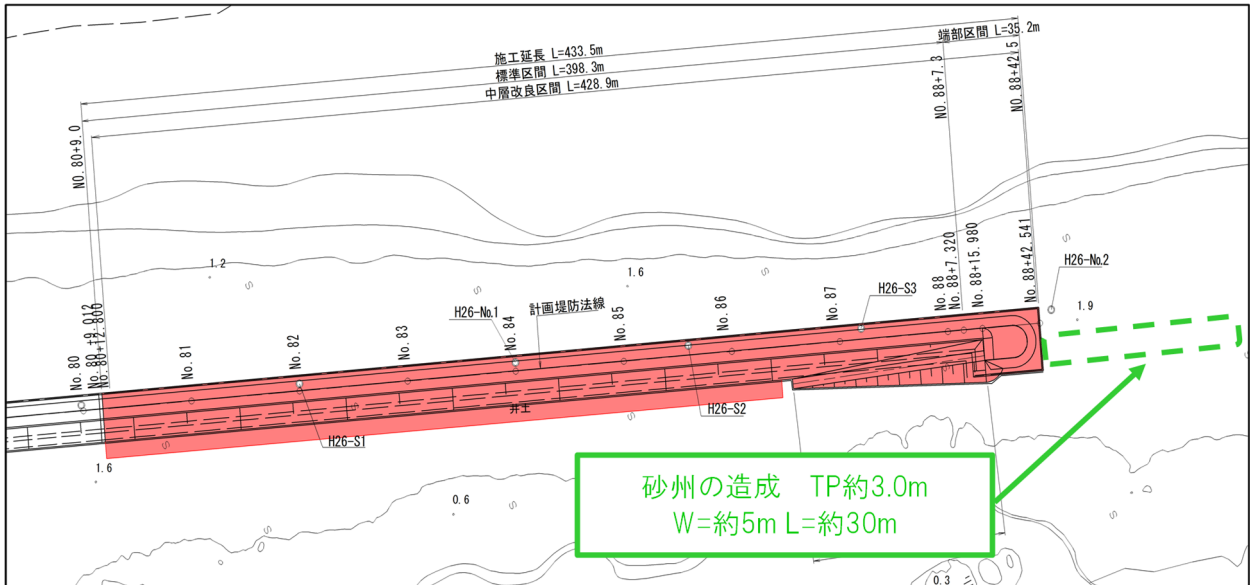


図 4-21-6 砂州造成位置【閑上漁港海岸】



写真 4-21-4 造成した砂州【閑上漁港海岸】

6.保全対策後のモニタリング結果

(1) 昆虫類・植物の生息・生育環境の保全

工事後のモニタリング調査で、昆虫類や植物の生息・生育が確認されている。

(2) 鳥類の繁殖場所となる砂州の造成

造成した砂州では、コアシサシの繁殖が確認された。

7.まとめ

(1) 保全対策の要約

【昆虫類・植物の生息・生育環境の保全】

工事範囲内に海浜性動植物の生息・生育が確認されたことから、工事利用による改変の最小限化等の海浜環境の保全を行った。

工事後の調査で、海浜性の昆虫類や植物の生息・生育が確認された。

【鳥類の繁殖場所となる砂州の造成】

防潮堤の延長線上に、コアシサシの営巣場所となる砂州の造成を行った。

工事後の調査で、造成した砂州においてコアシサシの繁殖が確認された。

(2) 今後の課題

海浜性の昆虫類の生息状況や植生の回復状況について、引き続き留意する必要がある。また、鳥類の営巣場所として造成した砂州（T.P.約 3.0m）については、今後も引き続き営巣場所として機能していくか留意し、必要に応じて環境アドバイザー等の助言を受けながら順応的な対策を講じていくことが必要となる。